



皆さま、こんにちは！ 高橋稔裕です。日頃の応援に感謝申し上げます。コロナとの上手な付き合い方(5類になったときの医療体制含め)を模索するとともに、傷ついた生活や経済にいかにか勢いをつけ戻していくか、進めていく段となりました。

令和4年12月定例会では、244億円の補正予算含む議案53件を議決。令和5年2月定例会では、令和5年度2兆2,111億円、令和4年度補正予算732億円含む議案82件を議決。福祉保健医療副委員長として委員会運営や、本会議にて委員長報告するなど、参画させていただきました。

例年通り、令和5年度本予算の内容と地元加須に執行される生活基盤を支える事業について、ご報告させていただきます。

令和5年度予算は

前年度より427億円減ったものの、コロナ感染拡大防止対策に1,372億円投入し、依然コロナの尾を引く予算であることが特徴です。

- ①また、社会に遍在する限られた資源をいかに有効に使うか？
 - ・循環型経済(サーキュラー・エコノミー)の実現
 - ・中小企業の事業再構築支援など
 - ②その最たるものとして、引き続き社会の効率を格段に上げ、多くの県民、不慣れな方にも効率化によって新たに抽出される資源から住民サービスの向上が適う可能性あるデジタルトランスフォーメーションの推進をいかに行うか？
 - ③社会が変革し人口が急減する中、人材の確保と育成をいかに行うか？
- 上記に挑む、執行部および大野知事の意味をくみ取れる予算となりました。

加須を守る私として

下記のような事業や予算についてご紹介させていただき、皆さまの生活や、加須市のために活かしていけたらと考えております。

地域活性化・地域福祉向上の武器となる！

戦略的シティブランディング・プロモーション 10百万円
 新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生推進事業費 27.3百万円
 テレワーク・副業×地域ミッション事業費 7.9百万円
 空き家対策の促進 13百万円
 電力データを活用した空き家対策モデル事業など
 こども食堂・フードパントリーなど子供の居場所づくり支援事業 23.4百万円

移動の自由を守る

地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク促進事業 39.2百万円

水害対策予算 1,279.9百万円

農林部予算の増加 14,842百万円増加

通学路対策予算 1,836.9百万円

暮らしをよくする かその生活基盤整備

→裏面を参照ください

埼玉版スーパー・シティプロジェクトの促進

340.4百万円

とりわけ、今回は部活動の地域移行について、皆さんと共有し考えていきたいと思っております。

埼玉県議会令和4年12月定例会にて、同会派の松井弘議員がこの問題について質し、用意が進まない部分の整理をすすめております。

【質問】

スポーツ庁および文化庁の有識者による検討会議から、休日の部活動から段階的に地域移行していく提言が国に示された。しかし、今後の中学校教育のあるべき姿や、部活動の将来的な位置付けが明確になっていないため、市町村教育委員会は具体的にどのように取り組むべきか困惑している状況だ。円滑に進めるためには、部活動の実施主体と成り得る多様な団体を確保する必要がある。しかし現実的には、あらゆる部活動をカバーできるような団体の数や受け入れ体制が十分ではなく、さらに地域差もあると考えられる。県はどのように市町村を支援していくのか？

【答弁】

- 1) 指導を依頼できるスポーツ団体等がないとする市町村が2割程度あり、吹奏楽部等の文化部につきましても、十分な受け入れ体制とは言えない。
- 2) 休日指導者は、地域の団体や民間クラブの指導者、大学生等が想定されており、各種関係団体等と連携し、市町村における指導者の確保が円滑に進むよう支援する。教員が希望する場合には、市町村教育委員会から兼職兼業の許可を得ることで、指導にあたることを想定している。
- 3) 生徒が休日の活動に参加する場合、保護者が謝金、施設使用料や用具費及び保険料などを負担することとなる。市町村に対して、公共施設の優先利用や、低額での利用を認めるよう働き掛けるとともに、国に対して、経済的に困窮する家庭に対する補助等の財政的支援を要望していく。全県的なスポーツ・文化芸術団体への協力を要請するなど、受け入れ先となる団体等を確保できるよう支援していく。

高橋の意見：学校のかかわり方がどのようになるか？など、十分とは言えない状況ですが、いずれにしろ、私含め各主体が少しずつ守備範囲を広げることが必要で、子どもたちの心身共に豊かな人格形成の環境を決して崩さないよう取り組むことが重要と考えます。





埼玉県、市内の令和5年予算のご報告。引き続き日々の暮らしと救急災害時の命を守るため、生活基盤整備事業を進めます。



通学路対策

農地の大規模化は、農業のまち加須市の必須事項です。かその農地面積は埼玉県No.1それが草だらけになったらいかがですか？

農地中間管理（馬内）



小中学校至近、地域の方々と通学路安全対策を進めます。

通学路対策



気づきにくいところですが、幹線道路や河川の流れは、日々の暮らしと救急・災害時の命を守ります。



前年予算検証

飯積向古河線幅員拡幅工事が進みます



前年予算検証

北平野から大利根中学校までが暫定開通しました

南北の交通を改善し、多くの方がスムーズに新病院を利用する為に...

誰もが使える子供の居場所作りこちら大事なインフラです。

- 子ども食堂**
- ①すくすく広場（不動岡）
 - ②愛の泉子ども食堂（礼羽）
 - ③光明寺おとら食堂（加須）
 - ④つくしの家（加須）
 - ⑤北小浜みんなで子ども食堂（三俣）

- 子育て応援フードパントリー**
- ①あいせん子育て応援フードパントリー（礼羽）
 - ②加須子育て応援フードパントリー（加須）
 - ③加須北子育て応援フードパントリー（伏拝・北川辺）
 - ④騎西子育て応援フードパントリー（騎西）
 - ⑤ゆめさくら子育て応援フードパントリー（旗井）
 - ⑥湯釜陽気子育て応援フードパントリー（牛重）

